

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372101481
事業所名	グループホーム岡崎若松の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 新興住宅地の一角にあり、近隣住民との交流は薄く、運営推進会議への地区総代の出席は少ない。 子供会、地域ボランティアとは随時交流があり、子供獅子舞、人形劇・体操ボランティアの訪問を受けている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 奇数月に民生委員、市・介護相談員、長寿課職員、地区総代、系列ホームの管理者等を招いて運営推進会議を開催している。 入居者・空室の状況、活動実績、行事計画が主な議題であり、形骸化が見られる。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議には、毎回市職員・相談員が出席しており、行政の関心も高いが、担当外職員の出席も多く、意見を求めたり相談をしても即答を得られない場合が見られる。 相談事や困難事案が生じれば、直接市の担当課に出向いている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 平成25年から「若松通信」を作成し、家族に近況を報告している。 2ヵ月に1回、各自の写真を載せ、記事を書いて送っており反響も大きい。 家族から「元気な姿には安心。退居する時のことが心配」との声がある。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○			